



7月16日 株式会社八森ファーム（南角田）

主な内容

- 種馬鈴しょ第3期検査
- 総代研修
- 青年部圃場視察
- 青年部白石まつり
- 青空教室
- 営農指導課のページ
- 生産者部会紹介
- 作業風景…etc

～小麦収穫～

7月16日より、秋播き小麦の収穫が開始されました。

「ゆめちから」初年度となる今年は、平年に比べ1週間程度早く収穫作業が始まりました。

由仁地区50年連続合格の快挙

種馬鈴しよ第3期検査

7月15日に由仁地区、16日に栗山地区とそれぞれ平成26年度種馬鈴しよ第3期防疫検査が実施されました。

両日炎天下の中検査が行われ、無事両地区ともに全筆合格となり、この検査をもって圃場での検査は全て終了となりました。

生産者の皆さんが1期自主検査から3期検査までの約1か月半の間、防除作業や抜取作業などの手間のかかる作業を徹底してきたことが実を結びました。

今後は10月中旬に行われる予定の



由仁地区第3期検査の様子



栗山地区第3期検査の様子

生産物検査を控えており、それまでに、収穫作業・仮選別作業を行う予定となっております。

また、今年度の検査で由仁地区は50年連続全筆合格という種馬鈴しよ防疫事業では偉業の達成となりました。

由仁地区は、昭和27年から種馬鈴しよ防疫事業が始まりましたが、検査当初は合格率も低く、昭和39年までは生産者・JAで試行錯誤しながら栽培が行われていました。

その後、生産者個々の栽培技術や抜取技術を向上させると共に、時代

圃場検査の様子
(昭和58年 由仁地区)



ジャガイモシストセンチュウ検査
(平成16年 由仁地区)

の流れに対応しながら長期的な改善計画の策定・共同管理体制の強化を生産者と関係機関が一体となって取り組んだ結果、昭和40年から今年度まで50年連続全筆合格という快挙を達成することができました。

国際農業機械展を視察

総代研修

無人トラクター



最新機種の紹介



7月10日、総代93名の参加により総代研修が実施され、帯広市の北愛国広場にて開催された第33回国際農業機械展in帯広を視察致しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、開催初日ということもあり、会場内は大勢の来場者で溢れておりました。

8年ぶりの開催となった農業機械展では、119社の企業が出展しており、大型トラクターや1人で2台のトラクターを操縦できるシステムなど最新鋭の技術が紹介され、参加した総代の皆さんも熱心に入っております。

驚きと刺激

青年部圃場視察

7月2日、青年部主催の管内圃場視察が実施され、栗山町の勝部農場さんの秋播き小麦「ゆめちから」の圃場と施設を視察致しました。

1枚の面積が20haを超える圃場を視察し、あまりの規模の大きさと、徹底された圃場管理に盟友達は大変驚き、刺激を受けていました。

その後、青年部とJA役職員との意見交換会が開催され、総勢80名近くの参加となり、盟友同士の交流はもちろん、JA役職員とも交流を深めることができた1日となりました。



圃場視察



青年部・JA役職員交流会

新鮮な農産物をお届け

青年部白石まつい



青年部のブース

7月19・20日、札幌白石区役所駐車場にて、第39回白石ふるさとまつりが実施され、本年度も青年部が農産物のPRを目的とした、直売所を出店致しました。

盟友達の協力のもと、とうきびやトマトなどの農産物を30種類近く揃えることができました。

2日間とも好天に恵まれ、青年部のブースにはお客様が殺到し、2日目の閉店までにはほぼすべての農産物が完売しました。

JAそらち南産の農産物を毎年楽しみにしてくれている方も多く、管内の農産物を存分にPRすることができた2日間となりました。

水稲冷害危険期を前に

第4回青空教室



熱心に聞き入る組合員の皆さん

7月8・9日、栗山・由仁両地区において第4回目となる青空教室が開催されました。

今回は、2回目となる水稲に関する青空教室となり、空知農業改良普及センターの職員より、冷害危険期の水管理や倒伏対策、いもち病とカメムシの防除などについての説明がありました。

今年は、平年に比べ1週間程度生育が早いとの事で、今後も好天に恵まれ豊稔の秋を迎えられることを期待致します。

農業の「素」を学ぶ

営農いろは塾

7月23日に第2回営農いろは塾、24日に第3回営農いろは塾が本所第3会議室にて開催されました。

第2回では13名の参加者が集まり、小麦の基礎について、栽培方法や病害虫防除の講義が行われました。

第3回では、水稲の基礎について同じく、栽培方法や病害虫防除の講義が行われ、13名の参加がありました。

講師は、栽培方法については生産資材部の佐藤営農技術員が、病害虫防除については営農部の尾崎技術アドバイザーが務めており、分かりやすい解説が行われております。



栽培方法について説明する
佐藤営農技術員



病害虫防除について説明する
尾崎技術アドバイザー

環境を考え

廃プラ処理



農業用廃プラスチック集積の様子

7月7・8日、由仁営農センターで農業用廃プラスチック集積が実施されました。

使用済みのビニールやPOフィルム、肥料袋や育苗箱などが持ち込まれ、トラックスケールで計量を行った後にそれぞれの指定の場所に降ろされ、再計量を経て廃棄物の重量が確認されました。

7日は74,820kg、8日は41,700kgで合計116,520kgの農業用廃プラスチックを集積することができました。

農業用廃プラスチックは、法律で保管・運搬・処分などの方法が規制されています。当JAでは、適正な処理と再資源化を図るため、年に2回集積を行っています。次回以降もご協力よろしくお願い致します。

楽しいひと時を過ごす

年金友の会日帰りツアー



十勝連峰を背景に記念撮影

7月15日、年金友の会が支部合同で日帰りツアーを行い、総勢94名の参加者がツアーを楽しみました。

北専務・中川参事に見送られ一路美瑛町の四季彩の丘へ向かい、一面満開の花を堪能いたしました。また、幸運にも演歌歌手の天童よしみさんにも会うことができました。みなさん大変喜んでいました。

その後、ふらのラテールで昼食と入浴をし、土の館では土の大切さを学び、最後にカンパーナ六花亭でお土産を買い、帰路に就きました。
気温は30度を超えとても暑い一日となりましたが、事故もなく楽しい一日を過ごすことができました。

期待のゆめちから

小麦受入開始

7月16日から、栗山・由仁両地区にて小麦の施設受け入れが開始されました。

今年は例年に比べ1週間程度早く施設が稼働しており、7月30日現在で栗山地区3,244t、由仁地区3,046tを受入致しました。

秋小麦に関しては、今年から超強力小麦の「ゆめちから」となりましたが、降雨がなく干ばつ傾向であったことから、圃場によって品質や収量に大きな差が出来る年となりました。



由仁地区受入



栗山地区受入

信頼されるJAへ

コンプライアンス研修会



119名の役職員が参加

7月22日、JA役職員を対象にコンプライアンス研修会を開催しました。

講師に北海道農業団体健康保険組合の柴田ちひろ保健師を招き、「働く人のこころの健康」と題したメンタルヘルスについて学びました。講義では、ストレスが引き起こす心身の影響やストレス解消法などが紹介され、参加した役職員は自身のストレスチェックなどを行いながら説明に耳を傾けました。

精神面の健康が良好かつ公正な業務遂行に必要であると考え本研修会を開催しており、今後においてもコンプライアンスを経営の最重要課題として毎年研修会を実施致します。

営農指導課のページ

「待望の雨、作物の頑張りに期待」

待ち望んでいた雨が7月22日から降り始め、乾ききっていた畑に染み込みましたが、23日9時現在の降水量は22mm（長沼アメダス）で、取り敢えずの量としては満足すべきでしょう。

この原稿を書く前に、作物の様子を見に行ってきました。



雨降りのため、すっきりしない写真ですが、気になっていたタマネギは少しだけ元気になっているように見えました。

7月23日の道新によれば、6月

下旬から7月下旬にかけて継続したカラカラ天気は、平年の降水量の20%（岩見沢市）という状況であったようですが、この地域ではもっと少なかつたと思います。

この広報が皆さんの手に届く頃には、干ばつの影響を受けていた作物がしっかりと回復してくれていることを期待します。

「飼料用トウモロコシは、とても元気です」

土づくりと輪作体系確立を同時進行する、飼料用トウモロコシの実穫り栽培の取り組みが7年目を迎え、栽培面積が40haを超える状況を見せています。

干ばつ傾向の中、とても元気に



生育中で、生育期は例年に比較して10日程も早い状況となっております。このまま推移すると収穫適期も早くなるのが予想されます。

また今年に入り、実穫り栽培の取り組みが注目されるようになりました。

●3月3日の農業新聞

「北海道トウモロコシ、国産で濃厚飼料、子実用の栽培拡大」という見出しで、一面のトップを飾りました。

J Aそらち南がいち早く取り組んできたことや、近隣への広がりが見られる様になったことなどが紹介されました。

●5月27日の北海道新聞

「食の大地、トウモロコシで畑再生、そらち南農協で栽培」という見出しで、全道版での紹介でした。土づくりが進むことや、日本ハム中央研究所との連携で、当J A産トウモロコシを活用した豚肉加工品の、マーケティング評価を進めることなどが紹介されました。

●7月8日の農機新聞

「J Aそらち南、子実トウモロコシ積極推進」という見出しで、茎葉鋤込みによる土づくりの効果と、収穫子実の飼料としての期待などが紹介されました。

さらに今後の予定として、8月

31日に帯広畜産大学で開催される「北海道畜産草地学会」で、国産飼料としてのトウモロコシ生産の紹介が要請されています。

実穫り栽培による土づくりは、少雨による被害発現の緩和と、多雨による滞水緩和に有効な取り組みであることを基本に、積極的な展開を考えています。

「苺苗の増殖、間もなくピークに」

9月中旬の出荷に向け、苺苗の増殖が順調に進み、目標収量達成が見えてきました。

病原菌に汚染されていない苗としての評価が徐々に高まり、今後への期待も大きくなっています。



（文責 技術アドバイザー 尾崎政春）

生産者部会紹介



吉本好孝さん（東三川）、橋本尚彦さん（東三川）、角昌幸さん（東三川）、金山和則さん（古山）
組合長 森田斉さん（東三川）

由仁 ナチュラルメロン組合

由仁ナチュラルメロン組合は会員数5戸で約70a（12棟）のメロンの作付けをしております。

平成24年より、「パブリレッド」に変わり、「ティアラ」と言われる品種を作付けしており、高糖度で果肉が厚く、日持ち性に大変優れる特徴を持った赤肉メロンになります。

「マンモスメロン」というブランドで出荷しており、昨年は1,120ケースを道



栽培講習会の様子

内や八戸の市場へ出荷しており、市場から高評価をうけております。

今年は天候に恵まれたことから順調に生育が進み、例年に比べ1週間程早い7月18日より収穫が開始されました。糖度についても昨年より高く、盆頃まで出荷が続けられます。

部会では地産地消を優先しており、地元由仁町の幼稚園や小中学校への給食に提供する他、地元のまつりなどでも積極的に販売し、地元の認知度向上を図っております。

会員全員が共選品として出荷しており、これにより品質の均一化が図られると共に会員同士の研摩にも繋がります。

また、会員の技術向上を図るため栽培講習会や視察研修会も実施し、会員同士の情報交換を欠かさず、高品質メロンづくりに取り組

組んでいます。

部会は平成5年に設立され、昨年11月に創立20周年を迎えました。決して大きな部会ではありませんが、会員同士が協力し合い切磋琢磨することによって永きに亘り生産を続けております。

組合長の森田さんは、「今までどおり地域密着型、地産地消を続けていくと共に、会員一丸となって高品質メロンづくりを目指していきたい」と今後の抱負を語ってくれました。



創立20周年記念式典（昨年11月）

各地の作業風景など



長島 義昭さん宅（岩内）
7月16日 秋小麦収穫



由仁メロン初出荷
7月18日



ピーマン部会町外視察
7月14日



栗山メロン初出荷
6月30日



我が家の愛取 (アイドル)

大 野 結 葵 ちゃん（女の子）

平成26年5月23日生まれ

南学田 お父さん：大野浩司さん
お母さん： 純さん

- Q 一番可愛く感じる時は？
A ニコッと笑顔を見せるとき。
Q どんな子に育て欲しい？
A 元気で思いやりがあって、優しい子になってほしい。



我が家の味

空知南東部地区農村女性ネットワーク
「このゆびとまれ」作成の“我が家の味
ありあわせ よせあつめ”より抜粋



麻婆豆腐

由仁町 新屋 礼子 さん



材料 (20個分)

・豆腐	1丁
・豚肉	200g
・ニラ	1束
・長ネギ	短めのもの 1本
・豆板醤	適宜
・ニンニク	少々
・オリーブオイル	少々
・片栗粉	少々

<作り方>

- ①豆腐はさいの目に切り、湯通ししておく。
- ②片栗粉は水で溶いておく。
- ③オリーブオイルでニンニクを炒め、風味が付いたら豚肉（細切り）を入れて炒める。
- ④水180ccに豆板醤を入れ、煮立てる。
- ⑤豆腐を入れて一煮立ちし、温まったらニラと長ネギを加えて混ぜ、火を止める。
- ⑥水溶き片栗粉を入れてなじんだら、火を付けてとろみが付いたら出来上がり

年金友の会 栗山支部会員募集中

JAからのお知らせ

年金友の会栗山支部では、会員を募集しております。
会員になられた方にはたくさんの特典があります。
詳しくは本所金融課・継立出張所へ

本所金融課 TEL 72-1392

継立出張所 TEL 75-2226



第7回理事会報告

日時 平成26年7月22日(火) 午後4時30分
より第7回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

経済委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号 業務用車両の更新について
議案第2号 出資金の承認について
議案第3号 平成26年度農産物(玉葱・甜菜)の仮渡金支払いについて
議案第4号 畜産リース事業に係る転貸貸付について



行事予定

8月・13日 第6回監事会(予定)
・19日 第8回理事会(予定)
新規就農者激励会



浴衣を着ての業務

7月25日、本所・継立出張所の金融窓口で一日浴衣にて業務が行われました。

普段と違う雰囲気に来店されたお客様は自然と笑みがこぼれておりました。



先月号の訂正

10ページ「おくやみ欄」
(誤) 近藤 武 84歳 由仁町東三川
(正) 近藤 武 84歳 由仁町西三川
右記のように誤りがありました。訂正し深くお詫び申し上げます。

組合員の動き

▽正組合員戸数 872戸
▽組合員数 3,225名
正組合員数 1,495名
うち法人 56名
准組合員数 1,730名
うち団体 56名
(6月30日現在)

★おくやみ申し上げます。

亡くなつた方 年齢 住所
権 堂 幸 子 77歳 由仁町古山
小 林 フミエ 88歳 由仁町熊本

編集後記

7月の三連休も天気がよく、絶好のお出掛け日和となりました。気温も一定の暑さを保ち、朝の日差しは通勤途中の私の腕を攻撃し、おかげさまで腕だけ日焼けしてしまいました。太陽の日差しは予想以上に強いのです。

肌の色の変化とともに、定植した作物も大きくなり収穫も始まりましたね。暑い夏にはトマトやキュウリなどを冷やして食べると体温が下がり、涼しく感じますし、何より美味しいですよ。

今年の夏は、暑さに負けないようたくさん野菜を食べて乗り切ろうと思います。

管理課 山崎 麻菜美



そらち南 くみあいだより
2014 8月号 Vol.67

■発行 2014.8.10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷